

鳥獣対策で監視機能を強化

青森県平内町が檻罠監視システムを増強

NTTテレコン

NTTテレコン東北支店は、青森県平内町における鳥獣害対策として、同町に檻罠監視

システムの通信端末を、新たに7台追加導入する。

同町は2024年6

月から同システムを先行導入していたが、今回の端末追加は、同システムの有効性を受けただ。

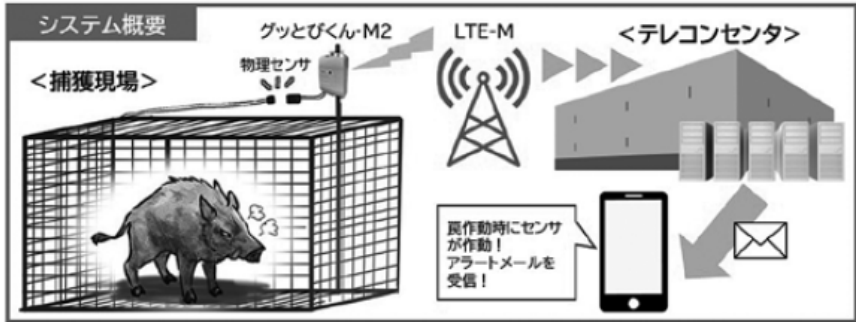


同システムは、檻罠の作動状況を遠隔で確認できる機能を備えており、現地見回りの負担軽減や捕獲後の迅速な対応を可能にする。

檻罠監視システムは、こうした課題を解決するため、遠隔監視による運用を実現している。

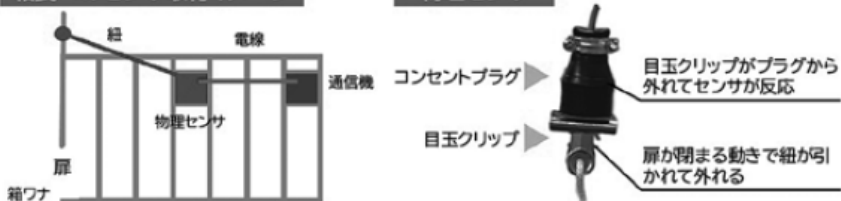
見回り回数は約50%削減されるとしている。また捕獲状況を事前把握することで不用意な接近を防止できる。誤作動が少なく、リアルタイムで捕獲状況を確認できる点もポイントだ。

近年、熊やイノシシなどによる農作物被害



箱罠へのセンサ取付イメージ

物理センサ



檻罠監視システムの概要